

超微細金型加工技術と若き力で世界に羽ばたく



株式会社 ユウワ

長野県小諸市西原 700-1 TEL.0267-25-8001  
http://www.yuwa-net.co.jp

# 東信ジャーナル

発行所 (株)東信ジャーナル社  
〒386-0012 長野県上田市中央 6-18-18  
TEL 0268-23-6632 FAX 0268-26-1403

火～土曜日発行 (3連休にならない発行)  
購読料/1カ月1580円(税込)

素材と技術の情報提案で 未来に挑む!



第一商工株式会社

上田市古里 1488-1  
http://www.daiichi-s.co.jp/



タジマへは2カ月に1回訪れ、幹部や社員に講義を行うほか商談などのサポートをしている。

### 上田市の(株)タジマ顧問

丹羽 高興さん(66) 名古屋市長

東京都出身、名古屋市長を歴任、43年間勤務した同社を65歳で昨年、定年退職した。退職後の4月、上田市の(株)タジマ(田島佳典社長)の顧問に就任した。

また、愛知県の大村秀章知事から県内企業の航空機産業の指導を頼まれ、昨年1年間で70社ほどの企業の設備計画や商談のサポートをするなど、月の半分はこの仕事に費やしている。



三菱重工工業に入社したとき、配属部署は当然、設計と設計していた。ところが名古屋のプレス工場での現場だった。クーラーもなく夏は40度、冬は零下になり、しもやけにもなった。そういう所からの出発だった。

43年間の仕事で最も苦労したのは48歳の時。当時の西岡会長から「ボーイング787の主翼をまとめて欲しい」と指名され、陣頭指揮をとることになった。それまでの飛行機は金属製だったが、ボーイング社は複合材製旅客機の開発を

## ボーイング787の主翼を担当 陣頭指揮

決め、同社に主翼の担当を打診してきた。従来製の旅客機は金属製。ボーイング787は全体を複合材で作ることになり、今までの作り方と全部変わってしまった。トラブルだらけだった。巨額の資金を投入、社運をかけた挑戦だった。5年の歳月を費やして、中部国際空港から第1号機を出荷することができた。

この大事業に部下は1000人。一人では何もしない。「丹羽さんと一緒にボーイング787が

最初飛んだ時、主翼が折れないかと心配だった。今は、この飛行機に乗るときはなるべく主翼が見える窓側に乗っている。

「希望通りの職場、希望通りの仕事ではないが、違う環境で頑張ってみようと思った。面白味はでてるし、お付き合いしたことがなかった人たちの関係も広がり、周りが見えてくる。」と振り返る。

(フライベイト)

趣味はゴルフと名城めぐり。2年間で115城を訪ねた。水泳を月8回、1日2000m泳ぐ。

座右の銘は「天の時、地の利、人の和」。

## 爽やかな風切り 自転車で峠越え

爽やかな風を切って自転車で峠越えを楽しむ「ツール・ド・青木峠R143」は5月19日に開く。

青木村民ら18人がつくる「青木令和の義民ドロプロジェクト」が自転車の活用や村の魅力発信を目指し、一昨年から開いており3回目。ふるさと公園あおきをスタートして国道143号線を上り、青木峠の明通(あけどし)トンネルや会吉(あいよし)トンネルを通り

### 来月、ツール・ド・青木峠R143



参加を呼びかける島形さん(右)と平林さん

同会は「レトロなトンネルを抜けると、ばつと広がる展望は快感。県天然記念物の横川の大いちょう付近からは北アルプスの絶景

も楽しめます」とコースの魅力アピール。広く参加者を募っている。

プロジェクトメンバーの平林幸一さん(69) 同村田沢は

「ボランティアの力を借りながら全て自分たちの手で運営しており、大変だけれどそれを面白がっているところ。世代的に違う人たちがアイ

デアを出し合い、意見を交換して活動することが村の活性化につながるのではないかと思っている。

代表の島形建夫さん(79) 同村村松は「義民の歴史を持つ村民の心意気。熱いマインドを持って青木村の魅力を生かすことに力を入れたい」と意気込む。

午前8時15分から開会式。8時半にスタートし、午後1時から閉会式やお楽しみ抽選会を開く。村、村教育委員会など後援。

参加資格は小学5年生以上。参加費一般4000円、高校生1000円。小学5、6年生と中学生は無料。中、高校生は保護者の承諾が必要。小学生は保護者が同伴走行する。道の駅あおきの昼食優待券や村内の日帰り温泉入浴券が付く。電動アシスト付き自転車やEバイクでも参加できる。

申し込み締め切りは5月12日。定員50人。左記のQRコードなどから申し込む。

問い合わせはTEL 090-22209-8485(島形さん)



申し込み用のQRコード

### 働き方改革を応援する

## ライブオフィス「ing Lab.」®

オフィスの見学随時受付しています

オフィス見学 3つのポイントご紹介

- ①人が集まり喜ぶオフィス空間
- ②中小企業のペーパーレス、テレワークの導入事例
- ③生産性の上がるオフィスの運営事例

丸陽本社「ing Lab.」

(株)丸陽 お問い合わせ担当/佐藤・小林  
TEL.0268-22-2400 http://www.maruyoh.com

## 4/20(土) OPEN!

美ヶ原高原山麓でアウトドアを満喫!

キャンプ バーベキュー 釣り堀

### 美栗溪谷緑の広場 武石観光センター

営業時間: 午前8時~午後5時  
定休日: 毎週月曜日 (7月中旬~8月末まで無休)

上田市武石上本入 2384-65 TEL.0268-86-2003

購読申し込みは 東信ジャーナル社 TEL 0268(23)6632へ ●催物 話題 人 投書など 何でも E-mail: tjournal@seagreen.ocn.ne.jp